

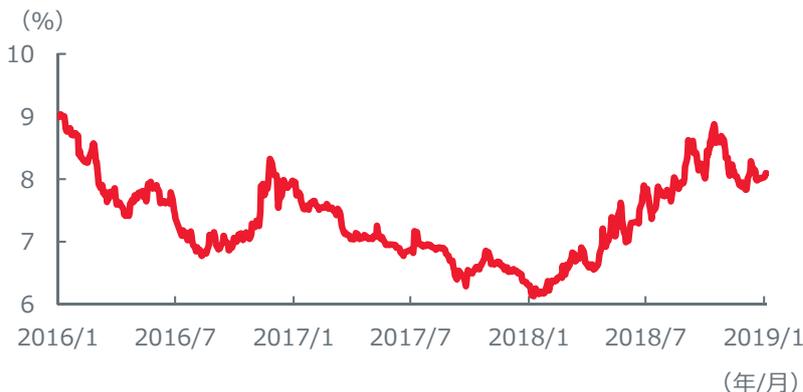
(対象期間：2018/12/24～2019/1/4)

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移
 (2016年1月4日～2019年1月4日)

【株式市場】

年末のインドネシア株式市場は12月中旬以降に大きく下落した米国株が反発したことを受けて上昇基調となりました。年明け2日の株式市場は小幅に下落しましたが、通貨ルピアの上昇などを背景に投資家心理が改善し、週後半にかけては堅調な推移となりました。セクター別では鉱業、建設・不動産、基礎産業・化学などを中心に多くのセクターが上昇しました。

2018/12/21	2019/1/4	変化率
6,163.60	6,274.54	1.80%

【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移
 (2016年1月1日～2019年1月4日)

【債券市場】

年末の債券市場はルピアが安定して推移したことなどからほぼ横ばいとなりました。1月2日に発表された12月の消費者物価指数(CPI)上昇率は市場予想を小幅に上回りましたが反応は限定的でした。翌3日に行われた国債入札は堅調な内容となりましたが、世界的に株式市場が大きく下落したことを受けて投資家のリスク回避姿勢が強まり、インドネシア10年国債利回りは上昇(価格は下落)しました。

2018/12/21	2019/1/4	変化幅
7.978	8.093	+0.115

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移
 (2016年1月1日～2019年1月4日)

【為替市場】

ルピアは対米ドルで年末から年明けにかけて堅調となりました。米国の経済指標が悪化したことなどを背景に米ドルは多くの通貨に対して軟調となりました。一方で世界的な株安などにより投資家のリスク回避姿勢が強まり、対米ドルで円高が進行したことから、ルピアは対円では下落しました。

2018/12/21	2019/1/4	変化率
0.7618	0.7577	-0.54%

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第379号/加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャルは、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・フィナンシャル社とは関係がありません。

英国ブルーデンシャル・グループ

190107 (02)